

1. 趣 旨

米価の低迷、米の直接支払い交付金の削減、さらには、TPP交渉の妥結等々、今日の稲作農業を取り巻く環境は厳しさを増している。こうした状況を踏まえると、早急に地域農業の担い手を確保・育成し、地域内の農地をそれら担い手に集約化することを通じて、効率かつ安定的な経営体への展開を進めていくことは喫緊の課題である。

そこで、平成28年度は、「水田作経営における担い手育成の取組みと課題」をテーマに、福井県において秋季研究会を開催する。具体的には、1) 平成26年からの農地中間管理事業を活用して地域外の担い手への農地集約化を実現した若狭町東黒田地区、2) 就農・定住事業やインターンシップ事業等を通じて若年層の農業への新規就農を進めている(有)かみなか農楽舎、3) 既存の集落営農を合併・再編し150haを越えるメガファームとなり、さらに地域農業を担う若手従業員を確保している(株)若狭の恵、以上の3つの先進的な取り組みの現地視察と報告を素材に、地域農業の担い手の確保・育成とそれら担い手に向けた農地集約化の実態を把握し、その実現に向けた課題と方向について検討する。

2. 開催日程 平成28年10月26日(水) 13:10 ~ 27日(木) 14:45

3. 開催場所 敦賀市男女共同参画センター(福井県敦賀市)、若狭町および小浜市の農業生産法人

4. 議 事

(1) 経営部会秋季研究会・現地視察 10月26日(水) 13:10~18:00

受付:(12時30分~) JR敦賀駅集合、バスで移動

出発:(13時10分~) JR敦賀駅発~JR敦賀駅着(18時頃)

現地調査場所

- ①若狭町東黒田地区(農地の担い手への集積と横展開)
- ②かみなか農楽舎(若狭町安賀里、新規就農支援施設)
- ③(株)若狭の恵(メガファーム経営育成、農地集積 他)

(2) 経営部会秋季研究会 10月27日(木) 9:30~11:00

会場:敦賀市男女共同参画センター4階ホール(敦賀市)

- ①農地中間管理機構を中心にした農地集積と担い手の育成
 - ②かみなか農楽舎の取組み
 - ③小浜市宮川地区におけるメガファーム化に向けて
- 総合討議 (座長) 中央農業研究センター 高橋明広

(3) 関東東海北陸農業試験研究推進会議経営部会 10月27日(木) 11:00~14:45

会場：敦賀市男女共同参画センター4階ホール(敦賀市)

議事：ア 国が重点的に研究開発を推進すべき技術的課題への対応について

イ 今年度の研究の進捗状況

ウ 今後推進すべき研究問題と研究戦略

エ その他

5. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政機関・普及機関、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸農業経営研究会関係者、農林水産政策研究所、農研機構内研究所、中央農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 参加費 情報交換会 5,000円

7. 参加申込

参加を希望される方は、10月12日(水)までに別紙申込用紙にご記入の上、メールまたはFaxで事務局に申し込んで下さい。

26日の宿泊は敦賀駅周辺にホテルがありますので、各自で手配くださいますようお願い致します。

27日の昼食は、会場の近くの飲食店、ショッピングセンター、コンビニ等が利用できます。

8. 事務局および申込先

秋季研究会事務局及び申込先

福井県農業試験場企画・経営課経営研究グループ(担当：林 恒夫)

〒918-8215 福井県福井市寮町52-21

TEL：0776-54-9314 FAX：0776-54-5106

E-mail：tsuneo_hayashi@fklab.fukui.fukui.jp